

1 実践事項

タイトル 「 学力向上につながる非認知能力を高める教育委員会の取組 」

2 実践内容

学力の基礎となる資質能力の育成は教育委員会及び地域・家庭の大きな役目であると考えている。学習指導要領等において学力の3要素としてⅠ知識・技能（見える学力）Ⅱ思考力・判断力・表現力（見えにくい学力）Ⅲ学びに向かう人間力（見えない学力）が示されている。そのⅡⅢの資質能力である非認知能力を育めば自ずとⅠの知識・技能（見える学力）が向上すると言われているので、教育委員会の取組を非認知能力の育成の視点で整理してみる。

(1) 自己肯定感を高める取組

- ① 地域の人による児童生徒への水泳指導
- ② 子どもたちの村行事への積極的な参画（ハーリー・カシキー・渡名喜祭り・綱引き等）
- ③ 村民総出で水上運動会の海浜清掃及び各種目への参画
- ④ 朝起き会を通して子どもたちを賞賛する。
- ⑤ 学校行事及び環境整備へ保護者地域の人々の積極的な参画
- ⑥ 子どもたちが地域へ貢献する取組（福木の剪定 道路の補修 花壇への花植え）

(2) 学ぶ意欲の高揚と視野を広げる取組

- ⑦ 秋田県学びの体験事業
- ⑧ 大都会（大阪）探索と大学生との交流
- ⑨ 海外ホームステイ事業へ中学生2人の派遣
- ⑩ 各種検定（漢字・英語・数学）へ半額補助
- ⑪ 放課後子ども学習塾（じんぶな〜）の開催



(3) 興味・関心・意欲・好奇心の醸成及び運動能力・自然体験

- ⑫ 親子ハマグチ・クムイ遊び、リーフ釣り体験、追い込み漁体験
- ⑬ 幼児・児童・生徒一人一人に好きな本の贈呈
- ⑭ 遊具及びビオトープの設置（仲間との遊びを通じた豊かな心の醸成と体力の向上）

(4) 取組事項と育む非認知能力

取組 事項	非認知能力											
	興味 関心 意欲	好奇心	感性	主体性	自己肯定感					コミュ ニケー ション	協調性	粘り強 くやり 抜く力
					夢中に なる	自分が 好き	大切に されて いる	自信	誇り 愛着			
①	○			○		○	○	○	○	○		○
②	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○
③							○	○	○	○	○	○
④	○			○		○	○		○	○		○
⑤							○	○	○	○	○	○
⑥	○			○		○		○	○	○	○	○
⑦	○	○	○	○			○	○		○	○	
⑧	○	○	○	○			○			○	○	
⑨	○	○	○	○			○	○		○	○	○
⑩	○	○		○		○		○				○
⑪	○			○			○	○	○	○		○
⑫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑬	○	○	○	○	○	○	○	○				
⑭	○	○	○	○	○				○	○	○	
計	12	7	7	12	4	7	11	10	9	12	9	9

※ 非認知能力の育成として全体的にある一定の取組が行われていると考える。しかし、子どもたちが夢中になることや知的好奇心の育成にもう少し取り組む必要があると考える。

3 具体的な実践例

● 「渡名喜村放課後学習塾「じんぶな～」

(1) はじめに

本村は離島のため、学習機会が限られており互いに高め合い、切磋琢磨しながら向上する場面が少ない環境にあることと、少人数の学級であるため受動的な学習になり学習の定着や深化・発展が弱い状況である。それを解決する手立てとして、やはり子どもたち自ら主体的に学習する力を育てなければと考え、教育委員会において2年前より「渡名喜村放課後学習塾「じんぶな～」」を開設した。

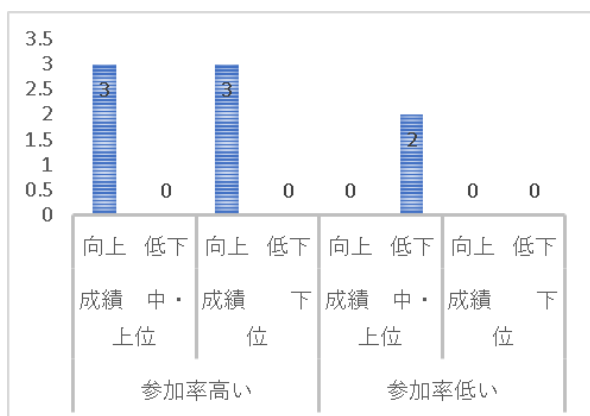
地域の方が支援者になり、子どもたちに教えるのではなく、子どもたち自ら主体的に学ぶ「自学学習」の場として位置づけている。2年目になり子どもたちは主体的に自学学習をするようになるとともに、学習成績も向上している。(方針や内容等は昨年度の実践報告書参照)

(2) 2年目の取組留意事項

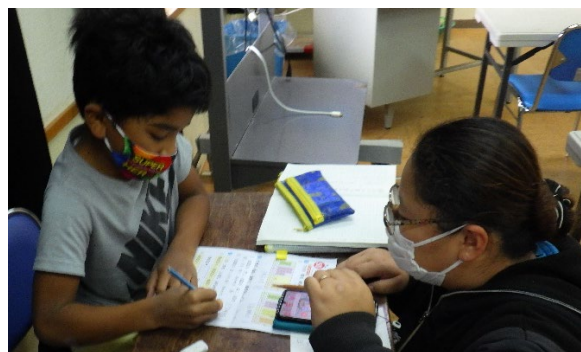
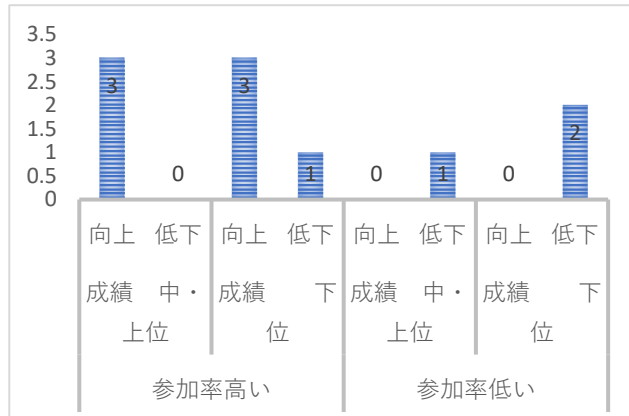
- ① 1年目で子どもたちの学習意欲や態度にある一定の成果で、学習の習慣化が定着してきた。
- ② 1年目の学習内容は宿題にとどまっていた。
- ③ 2年目としては自ら課題を見だし主体的に学習することを目指した。
- ④ 学習内容を教科書の基本問題に止まるのではなく、ワンランク上の課題に挑戦するように進める。
- ⑤ ワンランク上の課題について学校と連携し授業及び宿題等に工夫した。

(3) 「じんぶな～」参加率と学びの確かめ成績の伸び

小学校



中学校



※ 主体的に学習する力や粘り強く取り組む力など非認知能力が高いと考えられ子が、小・中とも参加率が高く成績の向上が認められる。

4 成果と課題

- ・主体的に学習していく力や興味関心意欲、自己肯定感などの育成は学力向上に重要であると考えます。
- ・非認知能力の育成は学力向上と相関があると考えるので今後非認知能力の育成に力を入れていきたい。